



ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第1位

ブゾーニ国際コンクール最高位

ゲールド・ピアノ三重奏団など室内楽奏者としても世界的に活躍

名門ロンドンのウィグモアホールの室内楽シリーズを監修

膨大な数の録音を行い、教育者としても尊敬を集めるイギリスを代表するピアニスト

ベンジャミン・フリス (ピアノ)

Benjamin Frith, Piano

ファニー・ウォーターマンの弟子。ダドリー・ナショナル・コンチェルト・コンクールに14歳で入賞し、サン＝サーンスの第二番の協奏曲を演奏した。その直後、ハロゲイト国際音楽祭にデビューを果たす。ボルツァーノのブゾーニ国際コンクール最高位、および1989年のアルトゥール・ルービンシュタイン国際コンクールで優勝および室内楽賞を受賞したほか、多数のコンクールで入賞を果たす。

ルービンシュタイン国際コンクール後多くのオーケストラよりオファーが殺到。メータ指揮イスラエル・フィル、アツモン指揮ワルシャワ・フィル、ジョン・ウィルソンおよびサー・マーク・エルダー指揮ハレ管などと共演した。またインド、カザフスタン、イスラエル、エジプト、極東、北米などをリサイタルでツアーした。ASVレーベルおよびナクソスとレコーディング契約を結び、ジョン・フィールドの全協奏曲をノーザン・シンフォニアとの共演でリリースした。シューマンのダヴィッド同盟舞曲集の録音はBBCのラジオ3で非常に高く評価された。

その後室内楽に専念するようになり、とりわけゲールド・ピアノ三重奏団で活動する。北米を定期的にツアーしており、ワシントン・ポスト紙は「音楽的な完璧さに極めて近い」と表している。またフリス・ピアノ四重奏団のメンバーでもあるほか、エアース、エンペラー、エンデリオン、シリಂಗリアン、ウィハン、ダンテの各四重奏団ともしばしば共演している。

近年のレコーディングとしてはスタンフォードのピアノ協奏曲第2番をダンテ協奏曲(ソロ作品)とカップリングしたのがあり、これはBBC音楽マガジンで高く評価されたほか、グラモフォン誌でも「ディスク・オブ・ザ・イヤー2016」に選ばれている。

昨シーズンはウィグモア・ホールでシューマンのピアノ五重奏曲(エアースQ)を演奏したほか、ゲールド・ピアノ三重奏団としてもウィグモア・ホールに登場し、ベートーヴェンのピアノ三重奏曲を演奏する。また中国および日本でソロリサイタルも開催する。

英国ウェールズ音楽演劇大学の名誉会員である。

宗次ホールの情報はこちら！

フォローお待ちしております



https://www.instagram.com/munetsugu_hall/



他にも各SNSにて情報発信中！

♪ 随時更新中 ♪

交通アクセス

地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業